

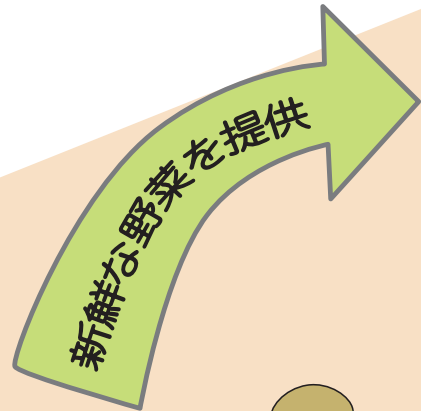
生産者と消費者を結ぶ直売所



天満屋ハピータウンリブ
総社店に常設されているそ
うじゃ「地・食べ」ステー
ション。DVDで「地・食
べ」の取り組みや生産者を
紹介するなど情報発信の場
にもなっている



毎週水曜日、市役所の玄関前に設置される直売所



わたしたちが作った
自慢の野菜を食べてね！



学校給食調理場に農業公社きびの里からキャベツを納入



を増やしていくことで、消費の拡大を図るとともに、地産地消の取り組みである「地・食べ」を多くの人に知ってもらいたいと思っています。

▼地元野菜を学校給食へ
直売所や飲食店、物産店などの販路の拡大とともに積極的に進んでいるのが、学校給食での使用です。重量ベースで年間使用量の割合を35%にすることを目標

に掲げ、野菜の生産体制の強化に取り組んでいます。学校給食での使用量を増やすためには、安定的に農産物を供給できるシステムをつくる必要があります。そのため、同一地域の生産者で構成するグループで、同一品種の野菜を栽培することを推進しています。今年度上半期の使用量は、春先の低温や大雨などの影響で必要量を確保できない農産物もありました

が、学校給食共同調理場とも連携し、旬の時期に合わせた農産物を利用するなど工夫したことにより前年度を上回っています。

◆ 今後も「地・食べ」委員会では生産者と消費者、販売者、行政が輪となり、儲かる野菜づくりを目指します。そして、総社の農業を元気にしていきます。

問い合わせ 農林課農林係 (☎08271)

そうじゃ地・食べ市場



ニシナフードバスケット総社東店にオープンした「そうじゃ地・食べ市場」。総社産の野菜約20品目が販売されている

広がれ「地・食べ」

野菜で総社を元気に！！

地産地消の取り組みを進める、そうじゃ「地・食べ」委員会が平成23年3月に発足。2年目に突入した「地・食べ」の輪が、生産者や消費者、販売者へ着実に広がっているなか、「儲かる野菜づくり」への挑戦はまだまだ続いています。

▼直売所「そうじゃ地・食べ市場」がオープン

「地・食べ」生産者の作った新鮮で安心・安全な野菜を売る「そうじゃ地・食べ市場」が、11月1日にニシナフードバスケット総社東店にオープン。市役所直売所、天満屋ハピータウンリブ総社店の「そうじゃ地・食べ」ステーションに続く、3か所目の直売所

となります。

ニシナフードバスケット総社東店の出入り口付近に設置されたコーナーで、「地・食べ」生産者の作った新鮮な総社産野菜を販売しています。商品には生産者の名前を表示しているため、安心して購入できます。そうじゃ「地・食べ」委員会で栽培契約を締結している生産者は、現在145人、17団体。今後も直売コ

ーナーを増やし、販路を開拓していくためには、取り扱う野菜の量が必要となります。そのため、協力してくれる生産者の拡大にも努めていきます。

「そうじゃ地・食べ市場」は、市役所でインターンシップ生として就労体験をした岡山県立大学の学生から提出された政策提言を基に設置。今後もこういった総社産の野菜を直売する場所

